

平成 1 1 年度技術開発実施報告書

様式 2 - 2

No. 1

課題名	育成天然林の更新・保育技術・施業体系の確立																													
課題区分	自主課題	開発箇所	去川国有林 254に、林小班	開発期間 平成7年度 ～ 平成16年度																										
当年度別実施計画		当年度実施報告																												
<p>1, 生長量調査</p> <p>2, 功程調査</p> <p>3, 有用樹生育調査</p> <p>4. 実施結果</p>	<p>1, 生長量調査 (平成11年12月)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>樹種</th> <th>径級(m)</th> <th>樹高(m)</th> <th>枝張(m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スギ</td> <td>34</td> <td>188</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>ヒノキ</td> <td>28</td> <td>194</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>ケヤキ</td> <td>24</td> <td>264</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>ヤマザクラ</td> <td>38</td> <td>336</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table> <p>2, 功程調査</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>作業方法</th> <th>噸(人/ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全刈</td> <td>7.2</td> </tr> <tr> <td>筋刈(省力)</td> <td>5.6</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">下刈作業延人工数：12.750人</p> <p>3, 有用樹生育調査 別途調査野帳保管</p> <p>4, 実施結果 スギ・ヒノキ・ケヤキ・ヤマザクラとも生育良好特にヤマザクラ・上光2号(ヒノキ)については良好な生育をみせている。 ヒノキ・ヤマザクラに野兎の食害発生 有用広葉樹の生育も良好である。</p>				樹種	径級(m)	樹高(m)	枝張(m)	スギ	34	188	44	ヒノキ	28	194	43	ケヤキ	24	264	56	ヤマザクラ	38	336	38	作業方法	噸(人/ha)	全刈	7.2	筋刈(省力)	5.6
樹種	径級(m)	樹高(m)	枝張(m)																											
スギ	34	188	44																											
ヒノキ	28	194	43																											
ケヤキ	24	264	56																											
ヤマザクラ	38	336	38																											
作業方法	噸(人/ha)																													
全刈	7.2																													
筋刈(省力)	5.6																													

状況記録写真

区分	自主
----	----

森林技術センター

(様式6)



ヤマザクラ



ケヤキ



ヒノキ(上光2号)

平成11年度254に。下刈実行前

状況記録写真

(様式6)

区分	自主
----	----

森林技術センター



ヤマザクラ



ケヤキ



ヒノキ(上光2号)

平成11年度254に。下刈実行後

状況記録写真

区分	自主
----	----

森林技術センター

(様式6)



ヤマザクラ



スギ

平成11年度254に6下刈実行前遠景

状況記録写真

区分	自主
----	----

森林技術センター

(様式6)



ヤマザクラ



スギ

平成11年度254に。下刈実行後遠景

平成12年 技術開発実施報告・計画

森林技術センター

様式 2

課題	1-2 育成天然林の更新, 保育技術, 施業体系の確立 (多様な森林を目指して) (その2)		継続 新規	担当	森林技術 センター (業務第I係)	開発 箇所	去川国有林 254に, 林小班																								
	目的	シイ類, カシ類を主とする天然林伐採跡地にヒノキ, イチイガシを植え込み, 天然下種, ぼう芽で発生するコジイをはじめとする, 有用樹を保育し, 針広混交林による多様な森林を造成することと用材率の向上を図る。					開発期間		平成7年度 ~ 平成16年度																						
年度別実施経過			12年度実施報告			13年度実施計画																									
			実施内容	備考 (評価及び普及指導)		実施計画なし																									
1 試験地設定 (H7) (1) 場所 去川国有林254に6林小班 (2) 面積 3.50ha (3) 樹種 ケヤキ, ヤマザクラ, スギ, ヒノキ (一部上光2号を植栽) (4) プロット設定 各樹種10m*10m1箇所 2 地拵, 植込み, (H7) 3 調査事項 (1) 苗木の測定 (H7) 根元径, 苗長 (2) 功程調査 地拵, 植付け (H7) 下刈 (H9~11) (3) 有用樹発生調査 (H7~11) (4) 生長量調査 (H8~11) 4 野兎被害予防対策 (H7~10) (1) 未木枝条立て (2) 雀おどしテープ (3) 新聞紙巻き付け (4) 白ペンキ塗布 (5) ワナによる捕獲駆除			実施事項なし	林況 スギ, ヒノキ, ヤマザクラともに生育良好。特に, ヤマザクラ, 上光2号 (ヒノキ) については良好に生育している。 ヒノキ, ヤマザクラに野兎の食害が発生している。		経費科目 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>品名</th> <th>数量</th> <th>単価</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">内 訳</td> <td>物件費</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>基職 臨時</td> <td>()人 人</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td></td> <td></td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>				品名	数量	単価	金額	内 訳	物件費				役務費				人件費	基職 臨時	()人 人		計				千円
	品名	数量	単価	金額																											
内 訳	物件費																														
	役務費																														
	人件費	基職 臨時	()人 人																												
計				千円																											

- (注) 1 課題欄には, 技術開発課題名に番号を付して記入する。
 2 実施報告欄には, 当該年度の開発成果を記入する。
 3 備考欄には, 開発成果の評価等について記入する。

平成13年

技術開発実施報告・計画

九州森林管理局

様式2

課題	1-2 育成天然林の更新, 保育技術, 施業体系の確立 (多様な森林を目指して) (その2) (天然林伐採跡地へ針葉樹の植込みによる針広混交林造成, 用材比率の向上技術の開発)	継続 (自主)	担当	指導普及課	開発 箇所	森林技術 センター 1 班
目的	シイ類, カシ類を主とする天然林伐採跡地にヒノキ, イチイガシを植込み, 天然下種, ぼう芽で発生するコジイをはじめとする有用広葉樹を保育し, 針広混交林による多様な森林を造成することと用材率の向上を図る。	開発期間		平成 7年度 ~ 平成16年度		
年度別実施経過		13年度 実施報告			14年度 実施計画	
		実施内容	備 考 (評価及び普及指導)		14年度 実施計画	
<p>1 試験地設定 (平成7年度)</p> <p>(1) 場所 去川国有林254に6林小班 3.50ha</p> <p>(2) 樹種 ケヤキ, ヤマザクラ, スギ, ヒノキ (一部上光2号を植栽)</p> <p>(3) プロット設定 各樹種 10m × 10m 1箇所</p> <p>2 地拵, 植込 (平成7年度)</p> <p>3 調査事項</p> <p>(1) 苗木の測定 (平成7年度) 根元径, 苗長</p> <p>(2) 功程調査 地拵, 植付 (平成7年度) 下刈 (平成9~11年度)</p> <p>(3) 有用樹発生状況調査 (平成7~11年度)</p> <p>(4) 生長量調査 (平成8~11年度)</p> <p>4 野兎被害予防対策 (平成7~10年度)</p> <p>(1) 末木枝条立て</p> <p>(2) 雀おどしテープ</p> <p>(3) 新聞紙巻き付け</p> <p>(4) 白ペンキ塗布</p> <p>(5) わなによる捕獲駆除</p>		当年度実施計画なし	<p>実行結果</p> <p>スギ, ヒノキ, ケヤキ, ヤマザクラともに生育良好。 ヒノキ, ケヤキに野兎の食害発生 有用広葉樹の生育も良好である。</p>		当年度計画なし	

平成16年 技術開発実施報告・計画

森林技術センター

様式 2

課 題	1-2 育成天然林の更新・保育技術・施業体系の確立（多様な森林を目指して）（その2）				開 発 期 間	平成7年度～平成16年度 延長期間 平成17年度				
開 発 箇 所	去川国有林 254に6林小班	担 当 部 署	森林技術センター	共 同 研 究 機 関		技 術 開 発 目 標	1	特 定 区 域 内 外	○	
開 発 目 的 (数 値 目 的)	シイ類、カシ類を主とする天然林伐採跡地にヒノキ、イチイガシを植込、天然下種、ぼう芽で発生するコジイをはじめとする有用樹を保育し、針・広混交林による多様な森林を造成することと用材率の向上を図る。									
年 度 別 実 施 報 告	16年度 実 施 報 告					17年度 実 施 計 画 書				
	実 施 内 容				普 及 指 導					
平成7年度 ①試験地設定②植込み③根元径・樹高の測定④試験地の表示⑤地拵・植込み 功程調査⑥有用樹の発生状況調査 平成8年度 ①生長量調査(根元径・樹高)②有用樹の発生状況 平成9～11年度 ①生長量調査②功程調査③有用樹生育調査	実施事項なし 平成16年度完了予定であったが、人工植栽した植込み試験木につる絡み及び雑灌木が侵入しており、造林木の生長を阻害している状況にあるので、平成17年度に除伐を実施する。除伐実施後に生長量調査を実施し、データ分析を行う。								1 除伐 3.50ha 2 生長量調査(根元径・樹高) 3 有用樹の生育調査(根元径・樹高) 4 試験地管理 平成17年度 完了予定	
技 術 開 発 委 員 会 に お け る 意 見										

- (注) 1 「課題」欄には、技術開発課題名の他に番号を付して記入すること。
 2 「特定区域内外」欄には、技術開発課題の実施箇所について、特定区域内は「○」、特定区域外は「●」、特定区域内外両方は、「◎」のいずれかを記入すること。
 3 「技術開発目標」欄には、「九州森林管理局における技術開発目標（九州森林管理局長通達）」の1～5のうち、該当する目標の番号を記入すること。
 4 「技術開発委員会における意見」欄には、技術開発委員会における意見を記入すること。